



シンボルマーク

シルバー おやべ

第 43 号
平成30年 1 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小 矢 部 市 茄 子 島 2 1 1 番 地
TEL (0766) 67 - 4804
FAX (0766) 67 - 5515



加賀心
つちのこころ
戊戌元旦

会員数 …… 359 名

男性 224 名 女性 135 名

【平成 29 年 12 月 28 日現在】

「賀正」書：会員 五郎丸尚三 (松沢) 写真：会員 松本彦次 (若林)

安全就業スローガン

指差す 声だし 作業確認もう一度

津沢地区 中嶋久男



センターの原点に立ち、一層の飛躍を！

理事長 柴田 敏秋

あけましておめでとうございます。

皆さまには、平成三十年の新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

会員の皆さまには、今年もお元気で「健康づくり、生きがいづくり」のため、就業にご活躍されますようご期待申し上げます。また、当センターをご利用いただいている皆さまには、本年のご健康とご繁栄をお念じ申し上げます。

今年も、忠実で勤勉な努力家とも言われる戌（いぬ）の年であります。当センターも、事業の原点に立ち、基本に忠実に努力を重ね、一層の飛躍を遂げたいと願っております。

年頭に当たり、改めてセンター事業の原点を再確認してみたいと思います。

当センターは、小矢部市にお住まいの六十歳以上の健康で、働く意欲があり、働くことによる生きがいや喜びを得たい、就業を通じて地域社会に貢献したいという方に、臨時的・短期的な就業を提供することを使命としています。このことを通じ、高齢者の豊かな知識・経験・技能を生かして、活力ある地域づくりに貢献することを目指しております。

当センターの事業運営の原点は、①仕事の準備から完成まで会員自身の責任で自主的に対応し、また、自分たちの力で会員や仕事を増やし、生きがいを見

いだすという「自主・自立」、②個人的な能力差を超えて、助け合いながら共同して仕事を完成させ、また、お互い、いたわり合いながら働く喜びを分かち合っているという「共働・共助」の二点であります。

したがって、会員は請負者（個人事業者）であり、当センターは個人事業者である会員の自主・自立・共働・共助の活動を支える組織であるというのが原点かと思えます。

事業を行う者が何を目指せば良いかを見失いかけたときに、あるべき姿に導いてくれる原点となる教えとして、近江商人の「三方良し（売り手良し、買い手良し、世間良し）」があるとされます。

当センターに当てはめると、働くことで地域や市民のお役に立ち、生きがいにも、健康づくりにもつながると考える高齢者（会員）、安心して仕事を任せたい依頼者、福祉の受け手ではなく、社会の担い手となる高齢者が増えることによって地域の活力を高めた小矢部市、この三者いずれにとっても良い（満足していただける）ところを目指す、ということになるかと思えます。

今年も、そのようなセンター運営を目標に、関係者一丸となって取り組みたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

理事長	柴田 敏秋
副理事長	村上 保英
専務理事	佐野 隆
理事	山田 博章
"	鳩沢 修一
"	五反田 範子
"	中村 利夫
"	松本 彦次
"	高西 久文
"	本田 昭記
"	山口 善嗣
"	忠田 勉
"	山田 操
"	高田 千里
"	金岡 亨子
"	山田 富雄

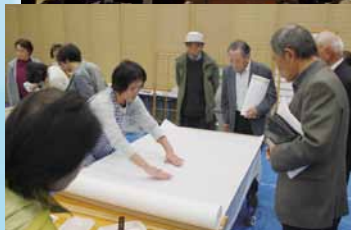
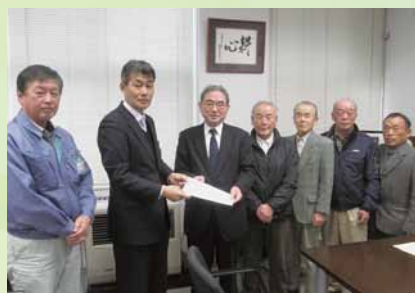
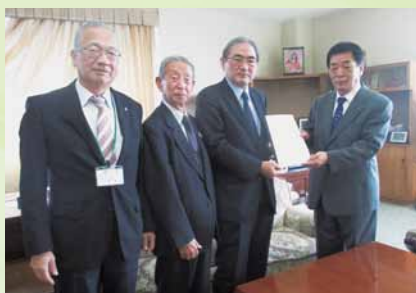
事務局職員一同

小矢部市等への支援要請について

平成29年11月10日、小矢部市長桜井森夫様及び小矢部市議会議長中西正史様へ平成30年度要望を行いました。

柴田理事長、村上副理事長、佐野専務理事兼事務局長が要望しました。要望内容は運営・事業費補助金の予算要望等です。

また、平成29年12月21日、小矢部園芸高等学校長大崎武治様へ専攻科生徒の皆様へシルバー会員の入会・就業を勧めていただくよう要望いたしました。これは剪定・雪吊り作業に就業する会員確保のために実施いたしました。柴田理事長、業務委員会委員、佐野専務理事兼事務局長が要望いたしました。



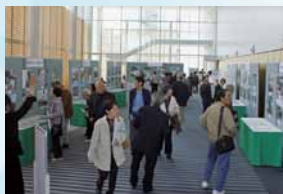
就業体験コーナー



草野 仁氏記念講演



シルバーフェスタパネル展



富山県国際会議場において、富山県シルバー人材センター連合会の「設立三十周年記念式典・記念講演」及び「シルバーフェスタ」を開催され、小矢部市シルバー人材センター会員及び職員四十五名が参加し、県内のシルバーから約八〇〇名の会員が出席し節目を祝いました。記念式典の後、記念講演がありテレビキャスターの草野 仁さんが「いつもチャレンジ精神で」と題して話があり、会場を楽しませてくれました。

十月二十四日
**富山県シルバー人材センター連合会
三十周年記念式典参加**

空き家管理事業先進地視察について

平成二十九年十一月一日、職員二名、空き家管理業務担当会員五名は長野県松本市の(公社)松本地域シルバー人材センター(以下、松本地域SC)への視察を行いました。

松本地域SCでは青木事務局長、山口業務係長、空き家管理担当コーディネーターの平沢氏に対応していただきました。

松本地域SCでは、まずはじめに同SCにおける現状及び空き家管理業務の実績等をご説明いただいた後、同様に小矢都市SCについて説明させていただきました。その後、質疑応答をさせていただきました。空き家管理業務担当の会員からも質問があり、大変有意義な意見交換ができました。

また、松本地域SCでは「シルバーショップえがお」という独自の施設があり、会員の手作り雑貨や農産物が購入できるほか、喫茶店も併設されており、ゆっくりくつろぐこともできます。

空き家管理業務以外にもさまざまな取り組みをされていて、たいへん参考となりました。



新入会員の

シルバーの会員となって

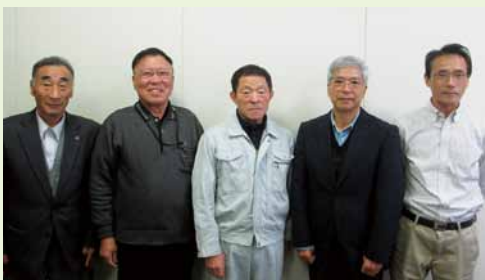
埴生地区 吉田 外茂治

今年から「シルバー空き家管理サービス」が始まり、その報告書の作成事務をして欲しいとの連絡がありました。パソコンは、退職前の勤務先で少し使っていたこともあり、それではと思いいシルバー人材センターへ出向きました。最初は、職員の方に教えていただき、今では一人で作成が出来るまでになりました。

近年空き家等は、庭木・雑草等の繁茂による近隣住民とのトラブル、不法投棄や不法侵入等、社会問題化しており、また、核家族化、少子高齢化により年々増加傾向にあります。

そうした中で、担当する私達五人は先般、昨年より取り組んでいる松本地域シルバー人材センターを訪れ、同センターが行っている「空き家等の適正管理事業」としての(1)実施方法(2)確認事項(3)留意事項等、巡回・見回り方法や、その経験を生かすべき対応について意見交換し、大変有意義な視察となりました。

私達は、松本地域シルバー人材センターで得た知識や、経験を生かし、微力ではありますが、シルバー空き家サポーターの一員として、空き家・空き地を適正に管理し、安心・安全なまちづくりの一翼を担えればと思っておりますので、益々のご指導よろしくお願いたします。



左から 高島会員、河除会員、佐野会員、吉田会員、稗田会員

「おやべ元気フェスティバル2017」に参加して

今年も10月7日(土)、クロスランドおやべにて「おやべ元気フェスティバル2017」が開催されました。

メインホールには「シルバー人材センター」のブースもあり、1年間の活動内容が写真パネルで展示されていました。また、各種教室での皆さんの木工品、手芸品等が多く展示されており、どの作品にも工夫や努力が見受けられ、制作中大いに楽しまれていた様子や出来上がった時の喜びがしっかりと伝わってきました。



今年は、広報用として、「介護予防、生活支援サービス事業」「空き家サポートサービス事業」に関するチラシを、会場入り口にて配布しました。

今回初めての参加でしたが、会場の賑わい、活気、足を運びたくなる様々な工夫にも、とても感心しました。是非来年も見に来ようと思っています。

広報委員 高田千里

働ける！働きたい！高齢者の方へ

シルバー会員になりませんか？



会員になるには…

- ・原則60歳以上で、健康で働く意欲のある方。
- ・入会説明会を受け、シルバー人材センターの趣旨に賛同いただける方。
- ・所定の入会申込み書類を提出いただいた方。
- ・所定の会費を納入された方。

会員募集中
小矢部市にお住まいの六十歳以上で、健康で働く意欲のある方、皆さんのご近所やお知り合いの方に、ぜひ声をかけをお願いします。

入会説明・相談会は

毎月第2・第4月曜日に14時00分から16時00分まで
小矢部市シルバー人材センターにて行っています。
(祝日等の場合は中止)

※詳しくは、小矢部市シルバー人材センターへお尋ねください。





平成29年10月11日

(ボランティア活動)

交通安全講習会の後、会員及び役職員を含めて約120名がボランティア活動に参加しました。ラジオ体操で体をほぐし、農村環境改善センターの敷地内とクロスランドおやべのパターゴルフ場内の除草を行いました。さわやかな秋空の下、心地よい汗をかきながら、会員同士が協力し、無事に活動を終わることができました。



(会員のつどい)

ボランティア活動の後、農村環境改善センター内の和室では、会員互助会により、豚汁やおにぎり等が振る舞われ、会員達は交流を深めました。日頃は接することの少ない他地区や他職種の会員達との交流の場ともなり、共通の話題で盛り上がり、互いの近況を話し合ったりして、楽しい交流の場となりました。

また、会員が持ち寄った野菜や遊休品でチャリティーバザーを開催しましたところ、その収益金は36,000円となり、無事に終了することができました。その収益金は、東日本大震災で被災した福島県内のシルバー人材センターへの支援のため、公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会へ義捐金として送られました。ご協力いただきました会員の皆さまには、厚くお礼申し上げます。



チャリティーバザー

(交通安全講習会)

平成29年10月11日、小矢部市農村環境改善センターにおいて、小矢部警察署交通課長 山田康則様を講師に迎え、交通安全講習会が行われました。今年度の小矢部市内の交通事故状況等について説明がありました。配布された資料等に基づいて、夜間の外出時には反射材を着用し、自動車から認識され易くすること等、高齢者が加害者や被害者にならないための対策や平成29年3月12日に施行された改正道路交通法の高齢者講習の内容について説明がありました。



福島県シルバー人材センター連合会から届いたお礼状

互助会だより

会員研修 十月二十四日(火)～二十五日(水)

富岸水上ライン・クルーズと 宇奈月温泉・トロッコで峡谷を行く

水島地区 宮崎洋子

予期せぬ台風二十一号の進路となり、落ち着かない日々を過ごしていましたが、幸運にも前日未明に通過し参加会員三十九名の皆さん、晴れやかに出発しました。

まず初めは、富山県シルバ－人材センター連合会が設立三十周年を迎え、その記念式典が富山国際会議場で開催され出席いたしました。式典の後テレビでおなじみの、キヤスター草野仁氏の「いつもチャレンジ精神で」と題した講演を聞きました。またフロアでは、各地区人材センターが日頃の活動状況を、写真で展示したり、作品を販売・PRしたりとたいへんな賑わいでした。

午後は環水公園から、富岸水上ラインをチャーター船で岩瀬まで約一時間余りの船旅です。兩岸の風景をゆったりと楽しみました。途中の重要文化財「中島閘門」は運河の上流側と下流側の二・五mの水位差を調整して、パナマ運河式に船を通過させています。水位差は日本最大級だということです。岩瀬からバスは一路「宇奈月温泉」へ。夕暮れと共に「サン柳亭」に到着。温泉でゆっくりと長い一日の疲れを癒しまし

た。その後の懇親会は、ビンゴゲームや、得意のカラオケで盛り上がり多くの方との会話もはずみ、和やかな一時となりました。

二日目はあいにくの雨でしたが、黒部川電気記念館を見学した後、トロッコ電車に乗り込みました。立山連峰と後立山連峰の間に、地殻隆起と黒部川の浸食作用によってできた日本一深いV字谷を、トロッコ電車は、室井滋さんの音声ガイドで樺平へとどんどん進み、息をのむ景色が展開されて行きました。樺平では散策したり、ピジターセンターで映像や写真で周辺の自然を学びました。

大自然を満喫させていただいた今回の旅を企画してくださった方々に感謝申し上げます。そして、草野仁さんの「何事も遅すぎることはない。思いついた時、気がついた時がスタート」という言葉を心に刻んだ旅でした。



同好会だより

「そば打ち体験会」を開催しました。

十二月三日(日)に宮島そば打ち道場で「そば打ち体験会」を開催しました。今回は二十四名の参加で、笑顔溢れる楽しいひとときとなりました。



安全管理委員会だより

事故ゼロを目指して!



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに平成30年の初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、安全管理委員会では、「事故ゼロ」を目指して、富山県シルバー人材センター連合会の斉藤安全適正就業指導員と共に、安全・適正就業について話し合い、除草（手除草、機械刈）、剪定などの屋外作業について安全パトロールを行いました。留意事項や事故事例を挙げての説明があり、安全管理委員や就業会員にとって有意義なパトロールとなりました。

今年度これまでの事故は、保険対象とならない軽微な事故を含めて7件発生（平成29年4月～平成29年12月時点）しており、そのうち物損事故が6件、傷害事故が1件となっています。

安全管理委員会では、安全パトロールの強化（回数を増やす）等の対策も大切ではありますが、会員各自が安全意識を高め、安全確認（指差呼称）を励行するという、会員一人一人の心がけの積み重ねこそが、「事故ゼロ」を実現するうえで最も大切であると考えてい

ます。

安全で適正な就業を通し、「事故ゼロ」を目指して丁寧な仕事を提供することで、地域社会に感謝され、喜ばれるシルバー人材センターになるように、会員の皆様と共に頑張りたいと思います。

最後になりますが、今年一年、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

安全管理委員長 中村 利夫

平成29年度事故防止共通施策

この施策は、県内全拠点センター共通して取り組み 事故防止を図る

作業前ミーティングと安全チェック

安全帽の着用

刈払機作業

- ! 作業場所に応じた刈刃の使い分け
- !! 車両の移動依頼
- !!! ネット等での飛石防止対策

剪定・雪吊り・伐採作業

- ! 三脚脚立と樹木の結束

ヨシッ!

指差呼称は大きな声で!

富山県シルバー人材センター連合会 安全・適正就業対策推進委員会

米ぬか+こうじ=新肥料

混ぜて発酵 トマト、ミカン生育順調



平成29年11月8日(水) 掲載

ほのぼののコーナー

平成29年11月8日(水)の富山新聞の朝刊に水島地区会員の前田與志廣さんが独自に考案した肥料を使って野菜や果物づくりに取り組んでいることが掲載されました。前田さんは今後も研究を続けさらに良い肥料を生み出そうと意気込んでいらっしゃいます。これこそが「いつもチャレンジ精神で」ですね。



お知らせ

ぜひとも、ご参加をお願いします

●地区懇談会

とき 2月上旬～

●安全就業講習会

とき 3月6日(火)

場所 クロスランドおやべ

※詳細が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。

あしがき



あけましておめでとうございます。会員の皆様も良い年を迎えられた事と思います。「シルバーおやべ」の広報に携わって二号目になります。会員の皆様の活躍がひしひしと感じる今日です。

一年ごとに皆平等に年齢は増えていきますが、私達高齢者には身に重く感じられます。自分はまだ大丈夫と思わず尚さらに健康に留意したいものです。

私の住む近辺はアウトレットが出来てから、田舎から街に様変わりして賑わいをみせております。今年の秋にはスーパージョウがオープンします。今後も移り変わりが楽しみです。

仕事、趣味、たまに温泉と本年も皆様と共にスローライフで過ごしたいものです。どうぞよろしくお願ひします。

広報委員 山田 操